

令和8年第2回定例会

一般質問通告書（質問事項要旨）

令和8年 6月16日
6月17日（3日間）
6月18日

南風原町議会

目次（一般質問日程表）

	議席番号	氏名	頁	質問日
1	16番議員	赤嶺 奈津江	1	6月16日（火）
2	13番議員	照屋 仁士	2	
3	6番議員	大城 雅史	3	
4	4番議員	西銘 多紀子	4	
5	15番議員	知念 富信	5	
6	2番議員	大城 重太	6	6月17日（水）
7	10番議員	大城 勇太	7	
8	12番議員	金城 憲治	8	
9	14番議員	浦崎 みゆき	9	
10	7番議員	岡崎 晋	10	
11	9番議員	石垣 大志	11	6月18日（木）
12	3番議員	當眞 嗣春	12	
13	8番議員	大宜見 洋文	14	
14	1番議員	玉城 陽平	15	
15	5番議員	伊佐 園恵	17	

令和8年6月11日作成

□ 赤嶺奈津江 議員

1. 窓口業務とDXを問う

【 町長 】

(1) マイナンバー業務を委託にしたが現状はどう変化したか。

(2) 窓口業務を整理し、総合窓口設置と全庁的な窓口業務委託してはどうか。

(3) 今回の補正予算で郵送請求キャッシュレス化への対応など様々なところでDX化がスタートしたと感じている。今後も住民サービスを充実させる為、総合窓口やDX窓口（書かない窓口）、システムやアプリ等で手続きできるように推進してほしいが町長の見解と方針をうかがう。

2. 防災とごみ処理を問う

【 町長 】

(1) 近年の大規模災害により本町の防災意識も変化してきたと感じる。また、交流人口の多さも実感する中で、災害時、海のない本町は大きな役割を担うと考える。その中でも、ごみ処理は大きな問題ととらえている。通常的环境行政と防災は切り離すことのできない業務だと考える。防災と環境を一つの部署として設置できないか。

3. 都市計画と墓地の申請について問う

【 町長 】

(1) 現在、墓地の開発や建築申請の担当と申請手順をうかがう。

(2) 土地の利用などの観点から考えると経済建設部局で対応すべきと考えるがどうか。

□ 照屋仁士 議員

1. 赤嶺町政2期8年の成果は。また課題をどう引き継ぐか

【 町長 】

(1) 赤嶺町政2期8年の成果をご自身はどう評価しているか。時系列で町民にわかりやすく答えよ。

(2) 総務部における課題について、どう認識し引き継がれるか。

(3) 民生部における課題について、どう認識し引き継がれるか。

(4) 経済建設部における課題について、どう認識し引き継がれるか。

(5) 教育委員会における課題について、どう認識し引き継がれるか。

(6) 政治活動における課題について、どう認識し引き継がれるか。

2. 金城町長は今後の南風原町政をどう運営するか

【 町長 】

(1) 選挙公約に掲げた政策を説明せよ。分野別、優先順位、その他わかりやすく説明せよ。

(2) 今年新たに策定される第6次総合計画へは、新町長としてどのように関わるか。

(3) 国政や県政、政党や様々な団体とどのように関わっていくか。

□ 大城雅史 議員

1. 町道 8 号線及び通学路の安全対策を

【 町長・教育長 】

(1) 現況の町道 8 号線の安全対策について伺う。

(2) 一般車両が、生活道路から町道 8 号線に出る際に危険な場所がいくつかある。カーブミラー等の安全対策を講じてほしいがどうか。

(3) 雨の日等、学校周辺の渋滞により、町道 8 号線及び県道 128 号線では慢性的な渋滞が発生している。津嘉山児童館近くの交差点の信号を時差式にし、スムーズな運行できるよう対策を行えないか。

(4) 津嘉山地域振興資料館の周辺住民より、朝の渋滞について色々なご意見がある。同資料館の駐車場に車両を駐車し、保護者同伴のもと、歩いて学校まで登校する。そのような事から小学校敷地内を有効活用しながら、対策をお願いしたいがどうか。

2. 行政無料相談会について伺う

【 町長 】

(1) 弁護士、司法書士、行政書士について、どのような手続きで、相談を行えるか。

(2) 役場に伺う事が厳しい方もいる。自治会ごとに無料相談会を開催出来ないか。

(3) 自治体と専門家団体の「包括連携協定」の取組みはどのように行われているか。

3. 雑誌スポンサー制度の進捗を伺う

【 教育長 】

(1) 令和 7 年 9 月定例会にて一般質問を行った。制度導入に向けて前向きに検討したいとあったが、その後の進捗について伺う。

□ 西銘多紀子 議員

1. 不登校児童生徒への支援と学びの保障を

【 教育長 】

(1) 不登校児童生徒の現状と支援体制について伺う。

(2) 学びの保障とICT活用について伺う。

(3) 学校外の学びの場との連携について伺う。

(4) 保護者支援の現状と課題について伺う。

(5) 新教育長が目指す不登校支援の方向性について問う。

2. 児童生徒を守る学校環境の充実について問う

【 教育長 】

(1) 学校における熱中症対策及び暑さ対策の現状について伺う。

(2) 児童生徒の安全確保に向けた学校環境の改善について伺う。

3. 公民館サークル活動の支援と地域活性化について問う

【 教育長 】

(1) 公民館サークル活動の現状と課題について伺う。

(2) 施設利用に係る負担軽減について伺う。

(3) 持続可能なサークル活動支援のあり方について伺う。

(4) 公民館を活用した地域連携と新たな展開について伺う。

4. がん患者へのアピアランスケア支援の充実について問う

【 町長 】

(1) がん患者へのアピアランスケア支援の現状と周知及び利用促進について伺う。

□ 知念富信 議員

1. 右折帯早めの工事着手へ

【 町長 】

(1) 県営第2団地から国道329号間の右折帯工事の着工時期への問い合わせがある。予定はどうなっているか伺う。

(2) 総工費、県の補助率、県からの交付状況を問う。

(3) 工事の施工方法、工期等を伺う。

2. 道路通行帯を

【 町長 】

(1) 与那覇地区から高速桁下を通り那覇方面に向けて右折が渋滞で通行に支障がある。対策できないか。

3. 英語教育の充実へ推進を

【 教育長 】

(1) 本町の英語教育強化への取り組みを伺う。

(2) 国際交流の推進と英語教育の充実のために諸外国との交流に力を入れる考えはないか伺う。

(3) 小中学校で外国とオンライン交流の実績はあるか伺う。

4. 役場窓口業務の開庁時間短縮を

【 町長 】

(1) 窓口業務の午前、午後の受付比率、午後4時以降の比率はどうなっているか。

(2) 窓口業務、コンビニでの交付利用の比率はどうなっているか。

(3) 隣町で受付時間短縮の取り組みがある。本町の取り組みはどうか伺う。

□ 大城重太 議員

1. 南星中学校の施設改修を問う

【 教育長 】

(1) 南星中学校の耐力度調査はいつ行うのか。

(2) 建替えになった場合のスケジュール、大規模改修になった場合のスケジュールはどうか。

(3) 故障したトイレの修繕や照明のLED化など、建替えや改修を待たずに早急に取り組んでほしいがどうか。

2. 陸軍病院壕20号壕の現状を問う

【 教育長 】

(1) 一般公開して来年で20年となるが、周辺設備では改修が必要な個所がいくつもみられる。利用者が安全に見学できるように、南風原文化センターから20号壕の出口までの導線を修繕してほしいがどうか。

(2) 一般公開にあたっては風化も懸念されたが、19年経って壕内部の保全状態に問題はないか。

3. 喜屋武・本部・照屋地区の下水道整備を問う

【 町長 】

(1) 喜屋武・本部・照屋地区の下水道整備の進捗状況と今後の計画はどうなっているか。

(2) 照屋地区の雨水管敷設工事の状況はどうなっているか。

(3) 照屋地区を通る排水路の管理、修繕ができないか。

□ 大城勇太 議員

1. 本町の物価高騰対策支援について

【 町長 】

(1) 食材費やエネルギー価格上昇の影響を受ける保育園や、学童等への今後の支援の状況は。

(2) 物価高による家計負担増への今後の対応は。

(3) 部活動による、遠征費の燃料費補助や、貸し切りバス等の補助の検討はあるか。

(4) 物価高や、ナフサの影響で本町の農家への負担はあるか。

2. 本町の子供対策について

【 町長 】

(1) 県外派遣費の補助の拡充ができないか。

(2) 習い事、学びクーポンの事業化の検討は。

□ 金城憲治 議員

1. 本町の公共交通について

【 町長 】

(1) 本町のAIオンデマンド交通モビについて、実績および課題は何か伺います。

(2) 今後、モビのタクシーにタクシー広告を活用できないか伺います。

(3) 今後、モビのタクシー車両に、車イス対応の車両導入を検討できないか伺います。

2. 本町の英語教育行政について

【 教育長 】

(1) 本町における、小中学校の英語教育の特色・目的にはどのようなものがあるか伺います。

(2) 本町の英語教育として、話せる英語教育に重点をおいた取り組みをして欲しいが如何か伺います。

□ 浦崎みゆき 議員

1. 子ども食堂について

【 町長 】

- (1) 本町にある子ども食堂の設置数はどのくらいか。また地域と名称を伺う。

- (2) 運営状況と平均の開設の状況を伺う。

- (3) 夏休み期間における子ども食堂への支援が出来ないか。

- (4) 町民の力を結集し夏休み限定のフードドライブの窓口を広げる仕組みが出来ないか。

- (5) 南風原町のこどもの居場所・こども食堂のマップ、チラシ等は作成されているか。

2. 成年後見制度について

【 町長 】

- (1) 本町の制度利用者はどのような状態か。

- (2) 本町のサポート体制はどのようになっているか。

- (3) 現在、国会において制度の見直しが進められている。内容と制度改正時の周知方法はどのように考えているか。

□ 岡崎晋 議員

1. 資源ごみ集団回収等事業報償金を問う

【 町長 】

(1) この予算の目的は何か。

(2) この予算額と単価の10年前・5年前・本年度の推移はどうか。

(3) 現状に至っている事をどう認識するか。

(4) 地域の衰退は町の衰退に繋がり、地域の活性化は町の発展に繋がると考えるが、どうか。

(5) この報償金の単価を引き上げ、地域の活性化を図って欲しいが、どうか。

2. 第6次総合計画と町政への思いを問う

【 町長 】

(1) 来年度から10年間に亘る第6次総合計画は本年度中に策定される。本町のこの最上位計画に金城宏孝町長の熱い思いをどう盛り込んでいくか。

(2) 去る5月18日開催の臨時議会冒頭の就任あいさつで、選挙公約の着実な推進を掲げ、その中で「町民の皆さんの声に耳を傾け、対話を大切にしたい町政を推進してまいります」と述べた。それをどう具体化していくか。

□ 石垣大志 議員

1. 中東情勢の影響について問う

【 町長 】

(1) 中東情勢の影響に伴い、石油関連製品の供給不安や原油価格の高騰が懸念されている。町内事業者からは、塗装資材や土木建築関連の様々な資材が価格高騰や供給不足、生産休止、受注停止、納期遅延などの影響が報告されており、事業継続への不安が高まっている。また、本町が実施する各種事業についても、資材不足による入札不調や事業遅延が懸念されている。そこで、町内事業者への事業継続支援及び本町事業への影響について問う。

① 中東情勢による資材の供給不足、生産休止、受注停止、納期遅延などの影響が、町内事業者及び本町が実施する各種事業へ与える影響をどのように認識しているか。また事業者からの相談状況及び町の対応を問う。

② 中東情勢の影響を受ける事業者へ事業継続支援の検討はあるか。また、上記の課題について、沖縄振興拡大会議等の機会を通じて国や県に対し地方の実情を訴え、必要な支援を求める考えはないか。

2. 宮平地区の内水氾濫対策について問う

【 町長 】

(1) 近年の集中豪雨により、宮平地区では道路冠水や住宅浸水への不安が高まっている。宮平川の浸水対策には、町が進める内水氾濫対策に加え、国場川水系の河川氾濫対策による外水対策も重要であることから問う。

① 宮平地区内水氾濫対策の進捗状況及び今後の具体的な事業スケジュールについて問う。

② 沖縄振興拡大会議において、宮平川の河川氾濫対策及び宮平地区の浸水対策について、国や県に対しどのような支援や要望を求めているか問う。

□ 眞嗣春 議員

1. 本町における平和行政、平和学習、日本国憲法について

【 町長 】

(1) 昨年の戦後80年沖縄戦没者追悼式で、デニー知事が行った「平和宣言」の中で、「鉄の暴風は豊かな自然と風景を一変させ、貴重な文化遺産、そして、20万人余のかけがえのない命を奪い去りました。(中略)この地で繰り返された、住民を巻き込んだ沖縄戦の実相と教訓を、県民一丸となった不断の努力によって、世代を超えて守り続けていくことは、今に生きる私たちの使命ではないか。」と呼び掛けています。この平和宣言と沖縄の心、沖縄戦の実相と教訓への町長の認識を問う。

(2) 本町における、平和行政と平和学習の意義と施策を問う。

(3) 辺野古沖での転覆事故で、平和学習中の高校生ら2人の尊い命が失われました。心から哀悼の意を表明したいと思います。今回の事故と平和学習、新基地建設問題は切り離して考えるべきです。文部科学省が同校の平和学習について、「政治的活動を禁じる教育基本法第14条第2項に反する」と認定したことに対して、批判と疑問が広がっています。今回の研修旅行を14条2項違反とすれば、政府の進める政策に否定的な意見を持つ人に話を聞くこと、沖縄戦の実相を正しく伝える当文化センターの平和学習や平和教育を委縮させることにもなりかねません。本町として、教育への不当な介入を許さず、学校現場を委縮させないためにどう取り組むか、町長の見解を問う。

(4) 高市政権の下で、改憲と戦争国家づくりの危険性が高まっています。改憲の狙いは9条に自衛隊を書き込むことであり、そのことによって「自衛隊の最後の縛り」が破られ、無制限な海外派兵が可能となり、戦争国家へと大変質することになります。日本は戦後80年間、世界での戦争に参戦することなく、自衛隊は、誰一人として殺さず、一人の戦死者も出していません。国民の命、自衛隊の命が守られてきたのは、憲法9条が大きな役割を果たしてきたからです。日本国憲法に刻まれた「再び戦争の惨禍を繰り返さない」という不戦への誓いへの町長の認識を問う。

(5) 軍事的抑止力の本質は、相手に恐怖を与えること。抑止力論は「恐怖」対「恐怖」のはてしない軍拡競争を生み、戦争への危機を増大させるだけです。高市首相はイラン戦争を起こしたトランプ大統領を一言も批判せず、ひたすら米国に付き添えば、無法な戦争に自衛隊が参戦し、国民を戦争に巻き込むことになる。憲法に基づく平和外交を進めることこそ、日本の平和と安全を保障する確かな道である。沖縄を二度と地戦場にさせない、捨て石にはならない。町長の見解を問う。

(當眞嗣春議員 一般質問)

2. 基地問題について

【 町長 】

(1) 沖縄県民は戦後27年の米軍占領下で、平和憲法のもとでの基本的人権、地方自治の確立と基地のない平和の島として復帰を望んだ。その思いを体現したのが、1971年の「復帰処置に関する建議書」である。しかし、沖縄県民の願いはいまだに実現せず、課題は山積している。デニー知事は、復帰50年の節目に復帰当時の先人たちの願い、今を生きる私たち県民の思いを踏まえ、「平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな建議書」を日米両政府に提出している。建議書に対する町長の見解を伺う。

(2) 1996年4月12日、当時の橋本龍太郎首相とモンデール駐日大使が会談し、普天間基地の「全面返還」で合意した。あれから30年、いまだに返還が実現しないのは歴代政府が、「県内移設」に固執し、民意に逆らい新基地建設を推し進めてきたからである。新基地の完成は見通せない。軟弱地番が広がる大浦湾での建設は不可能である。さらに、今年4月米国防省は、代替滑走路が特定されるまで普天間基地は返還されないと見解を示した。政府が繰り返し述べてきた「一日でも早い危険性の除去の為」「普天間基地返還の為」新基地建設という大義名分は成り立たない。普天間基地は無条件で返還すべきである。町長の見解を伺う。

(3) 合わせて、辺野古新基地建設に対する、町長の見解を伺う。

3. 子ども・子育て支援制度について

【 町長 】

(1) 子ども・子育て支援制度の目的と内容について伺う。

(2) 本町における、徴収対象者の人数を伺う。

(3) 本町における、26年、27年、28年各年度の徴収総額はいくらか。

□ 大宜見洋文 議員

1. 町長選挙の公約について問う

【 町長 】

(1) 町民体育館建設について。

(2) 2号チラシの赤文字の文章は、町長の町政運営への姿勢を述べているか。

2. 第6次総合計画策定への課題はないか

【 町長 】

(1) 住民参加ワークショップが3回と少なかった上に、終了後のまとめの内容がどうなったか、参加者に対し何も音沙汰がないと不満の声を聴いた。どうなっているか。

(2) 去った3月定例会の委員長報告の中で、「第5次まで具体的な施策を掲げていたが、重点施策の視点が弱くなったり、各分野の個別計画と策定期期のずれによる整合性の課題があった」との記述は具体的にどういう事例か。

(3) これから策定する個別計画はいくつあるのか。その中で、今年度中に策定しなければならない計画はあるか。

3. 学校給食に地産地消を増やせない壁を打破せよ

【 町長・教育長 】

(1) 学校給食に地産地消を増やす為に協議をスタートさせたが、実効性があるかどうか、金城町長の現時点での評価はどうか。

(2) 5千食以上の需要に対し、仕入れ業者と契約している農家だけでは十分賄えるとは言えないのではないか。

(3) ウクライナ侵攻、ホルムズ海峡封鎖による物流の停滞から物資不足に円安も進み、物価も高騰し続けている。町民の生活を守る為には、学校給食だけでなく、町民皆で食材を地産地消する仕組み作りが今の本町に必要なではないか。

□ 玉城陽平 議員

1. 企業版ふるさと納税を問う

【 町長 】

(1) 企業版ふるさと納税とは何か。一般のふるさと納税とどう違うか。どのような税優遇があり、CSRなど企業側にとって取り組むメリットは何か。

(2) 内閣府地方創生推進事務局の資料によれば、R6までの期間で県内の企業版ふるさと納税の寄付総額の実績は県内平均で約7000万、中央値で約2800万である中で、本町は受け入れ額約220万円で、受け入れをしている38自治体のうち、35位である。現状認識と課題、位置付け、今後の取り組みを問う。

(3) 町長の商工会長としての経験が大きな強みになると考える。本町に縁のある企業リストの作成、企業メリットの整理、町のプロジェクトへの共感ストーリーの設計、事業者への営業、など、どのように取り組んでいくか。

2. 学校の事務職員を問う

【 教育長 】

(1) 2015のチーム学校答申、学校法改正での規定の改正の中で事務職員がより積極的な位置付けとなった。本町において、この10年で事務職員の配置、職務、育成体系、学校経営への参画について、どのような変化があったか。

(2) 町立の小学校、中学校において、給食費を除く学校教育費の私費負担はどの程度か。これは継続的に把握できているか。教材の見直し等の私費負担軽減の取り組みはされているか。

(3) 就学援助の仕組みはどのような機会に周知されるか。必要と見込まれる家庭の把握、認定の手続きはどのように行われるか。

3. 社会教育行政について取り組みの進捗を問う

【 教育長 】

(1) 社会教育主事はどのような役割か。本町の社会教育行政の中に保有者はいるか。2022年から継続的に育成を提案している。実際の受講に至らない要因は何か。

(2) サークル活動で、新しい活動が始まり続くような場になっているか。冷房代の見直しはどうなったか。那覇市、豊見城市、八重瀬、与那原、南城市などの近隣の社会教育公民館と比較してどうか。

(3) 若い世代の利用を促す取り組みとして、中高生から学習スペースの拡充の声がよく届くが、どのように検討されたか。

(4) 社会教育関係団体の認定、町青年会室の有効活用はどのように検討されたか。

(玉城陽平議員 一般質問)

4. 福祉施策を問う

【 町長 】

(1) こども家庭センターで相談機能を充実することは望ましいが、行政窓口の時間外の対応も課題になる。今年1月より与那原町で、産婦人科・小児科のオンライン相談が導入され、県内で9件の導入がある。こども家庭庁等の最大3/4補助で運用できる。時間外対応の打ち手の1つとして調査研究を。

(2) 児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの福祉事業所へのカスタマーハラスメント対応について、本町の事業所支援の取り組みはどうか。町としての方針策定や事業所への周知、研修は行われているか。

(3) こども家庭センターの設置に伴い、相談対応の増加、継続支援、多機関調整などのケースマネジメントの増加が想定される。地域福祉が福祉課に移ったとはいえ、こども課の業務範囲は多く、予算も他の課と比べて大きい。業務体制はどう強化されるか。課長と別で主幹を配置しケース統括を担う役職を配置すべきではないか。

5. 高齢者の就労と生涯活躍を問う

【 町長 】

(1) 本町の高齢者の就労における受け皿機能やマッチングの取り組みはどのようなものがあるか。近隣のシルバー人材センターの役割と課題をどう捉えているか。

(2) 前期高齢者の就労の長期的な上昇傾向を踏まえ、生涯現役促進地域づくり（厚労省）について、本町の見解を問う。

(3) 企業の人材不足が課題となる中、本町の状況はどうか。地域内の人材確保について、商工会との意見交換等の機会の中で議論はあるか。

(4) スポットワークとは何か。自治体がスポットワークを導入する事例があり、女性やシニア世代の就労の確保と地域の人材確保につながっている。就労と社会参加を支える仕組みとして調査研究を求めるがどうか。

6. 参加と包摂の遊び場づくりを問う

【 町長 】

(1) 子ども達の遊び、遊び場環境（町内）について、親世代、祖父母世代と比べてどのような変化があり、どのような課題があると考えるか。

(2) 公園の遊び場づくりの事例集が国交省から出ている。多様な利用者の声を聞き、使われ方を見ながら継続的に育てる取り組みである。以前にも提案してきた公園づくりワークショップ、利用者アンケートとあわせて公園を継続的に良くしていく仕組みにしてほしいがどうか。

(3) 公園の遊具更新や再整備、新規設置にあたり、インクルーシブ公園の視点を取り入れる考えはあるか。障がいのある子どもやその家族、保育・教育・福祉関係者の声を聞きながら、誰もが一緒に遊べる公園づくりを検討できないか。

□ 伊佐園恵 議員

1. 選挙の公費を問う

【 町長 】

(1) ポスターの公費負担をしてほしいがどうか。

2. 教員の働き方改革を問う

【 町長・教育長 】

(1) 津嘉山小学校職員女性トイレ（女性職員人数約60名）は洋式1つ、和式1つである。すべて洋式にしてほしいがどうか。

(2) 職員休憩室（男性、女性）に、クーラー設置をしてほしいがどうか。

3. 学校通級教室の整備について

【 町長・教育長 】

(1) 津嘉山小学校、通級教室のクーラー設置をしてほしいがどうか。

(2) 津嘉山小学校、通級教室の仕切りを設置してほしいがどうか。

4. 学校の体育館にクーラー設置を問う

【 町長・教育長 】

(1) 津嘉山小学校体育館へ、防災避難所としてクーラー設置をしてほしいがどうか。

(2) 津嘉山小学校は、児童が1,000人を超え多目的に使える場所がほとんどない状況である。また、1（ひと）学年、約160～180名が集合する場所として体育館以外にない。体育館へ早急に、クーラー設置をしてほしいと考えるがどうか。

5. 津嘉山の拝所整備について

【 町長・教育長 】

(1) 拝所には教育委員会の標示あり、拝所の修繕、整備をしてほしいがどうか。

6. 緊急避妊薬について

【 町長 】

(1) 南風原町で、購入できる薬局を教えてください。